

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



# 瓦ばん！

平成22年9月27日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる  
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第13号

こんにちは、ばんよしはるです。まだまだ暑い日が続きますが、お元気ですか。来年からは、小学校の運動会(本年は9月25日)を10月に入ってから行うことも、検討するとの議会での町長の答弁があったほど、異常気象とも言える状況が続いておりますので体調管理に気をつけてください。

さて斑鳩町議会では、9月6・8・9日で平成21年度決算審査を行いました。その中で、私の質問をまとめてみますと、

(私の主張) 斑鳩町の各小学校の教室には扇風機が設置されているが、中学校には未設置のままだが、なぜ中学校に扇風機を取りつけないのか？

(町の答え) 来年度に2つの中学校に取り付ける予定です。

(私の主張) いかるがパークウェイの今後の進捗状況は？

(町の答え) 町としては、このままの状況を放置できかねるので、国や県に実情を説明してきておりまして、先日、民主党県連から政府に対し、来年度予算要求していただきました。

(私の主張) 民族資料室の来館者が一日当たり、平均2人を下回っているが、事業を取りやめるべきだと思うが？

(町の答え) 今後、いろんな方面で広報に努めて入館者を増やす努力をしていきたい。

(私の主張) 斑鳩町の観光事業として、平成21年の観月際はいかるがウォークと連携して事業をおこなっているが、なぜ今年はやらないのか？

(町の答え) 平日と言うこともあり、観月祭のみの状況でございます。

これらは、質問の一部ですが、これからの斑鳩の進む道筋を明確にしていくことが必要なのです、なぜなら後10年先には斑鳩町の65歳以上の人口比率は約3割になる統計が出ております。

今回の平成21年度決算でも町税は1億円の減収になっており、今後、名ばかりの地方分権が進めば、国からの交付金もあてにできなくなる可能性が高いと考えていかなければなりません。

斑鳩町も徹底的なムダを省き、自主財源の確保が急務となっており「今は黒字でなんとかなっているから」ではなく「なんとかなっている間のこの時間を大切にしなければならないのです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。